

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
42114	読書振興事業	教育委員会事務局	中央図書館事務所	2
42114	ブックスタート事業	教育委員会事務局	中央図書館事務所	3
42122	図書館運営事業	教育委員会事務局	中央図書館事務所	4
42122	図書館資料購入事業	教育委員会事務局	中央図書館事務所	5
42123	視聴覚ライブラリー運営事業	教育委員会事務局	中央図書館事務所	6

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当G	図書館サービス・読書推進担当	連絡先	943-8008		
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	農中 英司	リーダー	小池 ひろみ	担当	河村 好恵	渡部 光一郎	

1.事業概要【Plan】

事業名	読書振興事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	1:直営	
42114							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む		○	-	-	-	
施策	生涯学習の推進						
主な取組	多様な学習機会の提供	根拠法令	図書館法第3条/子どもの読書活動の推進に関する法律第2条、第4条、第7条、第9条/文字・活字文化振興法第5条～7条/視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律第5条、第9条、第10条/松山市立図書館条例第3条/第4次まつやま子ども読書活動推進計画				
取組みの柱	子ども読書活動の推進						
目的・背景	図書館法に基づく図書館として読書振興に関する事業を実施し、住民の生涯学習等を支援する。また、子どもの読書活動の推進に関する法律の施行を受け「まつやま子ども読書活動推進計画」を策定し、同計画に基づいた取り組みを行うことで子どもの読書環境の充実に努めている。						
対象・内容	松山市立図書館利用者 1. 子ども向け…各種おはなし会、ビブリオバトルその他、子どもの読書活動推進に係る事業 2. 子ども読書活動推進者・団体向け…各種講座の開催 3. 子ども読書活動推進ネットワーク会議の運営 4. 成人向け…図書館講座の開催等、読書振興に係る事業 5. 障がい者向け…視覚障がい者や通常の読書が困難な方が利用しやすい図書等を充実し提供する事業						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	813	752	748		主な経費 (千円) 【R4 決算】	おはなしボランティア、講師等への謝礼		490
	国費・県費	0	0	0			イベント実施会場の使用料		56
	市債	0	0	0			講座、イベント等で使用した消耗品費用		13
	その他	0	0	0					
	一般財源	813	752	748					
決算 (千円)	事業費計	363	570			主な取組内容 【R4】	・各種おはなし会、ビブリオバトル等の子ども読書活動推進行事		
	国費・県費	0	0				・子ども読書活動推進に関わる人材の育成・交流		
	市債	0	0				・読書会の支援、講座の開催等の成人向け読書活動推進行事		
	その他	0	0						
	一般財源	363	570						
人役	正規職員	3.3	3.3	3.3		特記事項			
	その他	1.9	1.9	1.9					
	合計	5.2	5.2	5.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	市立図書館における子ども(小学生以下)1人あたりの児童図書の蔵書冊数	目標	4.5	4.5	4.5	4.5	資料の状態を見ながら適宜、買替や廃棄を行い、蔵書の質的管理に努めながら目標値を達成・維持した。		
		実績	4.5	4.7					
	単年で増	冊	達成率	100%	104%				
成果指標	市立図書館における子ども(小学生以下)1人あたりの児童図書貸出冊数	目標	11.3	11.3	11.3	11.3	R3年度のコロナによる臨時休館の影響を脱し、貸出冊数は復調しつつあるが目標値には届かなかった。		
		実績	9.0	10.9					
	単年で増	冊	達成率	80%	96%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	児童図書貸出冊数は目標値に届かなかったが、前年度と比べて伸びを見せており、各種イベントや講座等も実施後のアンケート等で好評を得ているため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	概ね目標を達成できているため、引き続き事業に取り組む。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当G	図書館サービス・読書推進担当	連絡先	943-8008		
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	農中 英司	リーダー	小池 ひろみ	担当	河村 好恵	渡部 光一郎	

1.事業概要【Plan】

事業名	ブックスタート事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
42114							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む		○	-	○	-	
施策	生涯学習の推進						
主な取組	多様な学習機会の提供	根拠法令	第4次まつやま子ども読書活動推進計画				
取組みの柱	子ども読書活動の推進						
目的・背景	平成27年度に、地方創生先行型交付金を活用し、「出会いから子育てまでのサポート事業」の一環としてブックスタート事業を実施した。翌年度からは市の単独事業として絵本を通して親と子のふれあいを楽しみ、絆を深め、乳幼児期から本に親しむ習慣を身につけてもらうことを目的に事業を継続している。						
対象・内容	<p>松山市に住民登録をしている1歳未満の乳児とその保護者に対し、以下の事業を行う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出生届提出時等に本庁、支所、保健所等で市長メッセージや赤ちゃん絵本、おすすめ絵本ガイドをセットにした「ブックスタートパック」を配布。令和元年度6月から、絵本の選択制(3種類)開始。 2. 母子保健推進員等によるこんにちは赤ちゃん訪問事業など、家庭への各戸訪問や、図書館のおはなし会等の行事開催等の機会を通じて、「ブックスタート」の意義、乳幼児期の絵本の読み聞かせの大切さなどについて周知・啓発を図る。 3. 利用者の声を聞くアンケート調査を実施し、ニーズの把握に努めている。 						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度					
予算 (千円)	事業費計	2,321	2,100	2,100		主な経費 (千円) 【R4 決算】	ブックスタート用絵本、専用袋の費用		2,100
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	2,321	2,100	2,100					
決算 (千円)	事業費計	2,321	2,100			主な取組内容 【R4】	・出生届提出時等に本庁、支所、保健所等で3種類の絵本から選べる「ブックスタートパック」を配布		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	2,321	2,100						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	配布場所	目標	27	27	27	27	各配布場所との連携と協力による		
		実績	27	27					
	現状維持	箇所	達成率	100%	100%				
成果指標	ブックスタート事業に対する満足度		目標	100	100	100	100	ブックスタートの意義について効果的な啓発が必要	
			実績	94	93				
	単年で増	%	達成率	94%	93%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	満足度100%には届かなかったが、利用者アンケートでは「読み聞かせをするきっかけになった(機会が増えた)」、「子どもが絵本に興味を示した」等の選択肢を選ぶ方が多く、事業の目的は果たしていると考えられるため。							
課題	特になし			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	満足度の向上に向けて工夫しながら、引き続き現行の取り組みを行う。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当G	図書館管理運営総務担当	連絡先	943-8008		
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	農中 英司	リーダー	松本 優子	担当	藤原 敏貴	金子 紘也	

1.事業概要【Plan】

事業名	図書館運営事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)		事業区分	2:委託	
42122							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む		○	-	-	-	
施策	生涯学習の推進						
主な取組	生涯学習環境の整備	根拠法令	図書館法第3条/文字・活字文化振興法第5条～7条/松山市立図書館条例第3条				
取組みの柱	図書館資料の充実と利用環境の整備						
目的・背景	図書館法に基づき、市立図書館が市民の多様な学習ニーズに応えられる機能を発揮できるように、全館の運営・施設維持・図書館システム管理に努める。						
対象・内容	市立図書館の運営、施設維持、図書館システムの管理を行う。 【一部委託事業内容】 松山市立図書館の窓口業務等業務をシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社に委託している。 (松山市立中央図書館(移動図書館含む)、三津浜図書館、北条図書館の窓口等運営業務、図書館間の図書搬送等)						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	松山市立図書館窓口等運営業務委託料		131,076
予算(千円)	事業費計	221,467	302,199	228,602					
	国費・県費								
	市債								
	その他	377	370	355					
一般財源		221,090	301,829	228,247		主な取組内容【R4】	全館の管理運営、施設、設備の維持管理、図書館システム管理。	550	
決算(千円)	事業費計	220,125	286,055						
	国費・県費								
	市債								
	その他	491	410						
一般財源		219,634	285,645			特記事項			
人役	正規職員	3.9	3.9	3.9					
	その他	5.2	5.2	5.2					
	合計	9.1	9.1	9.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	インターネットでの資料予約・リクエスト受付件数	目標	-	-	280,000	300,000	-	
		実績	264,626	276,390				
	累計で増	件	達成率	-	-			
成果指標	市民一人当たり図書貸出冊数	目標	4.1	4.1	4.1	4.1	R3年度のコロナ禍による臨時休館の影響を脱し、貸出冊数は復調しつつあるが目標値には届かなかった。	
		実績	3	3.5				
	累計で増	冊	達成率	73.2%	85.4%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	12月に行った図書館システム更新に伴い、セルフ貸出・カードレス貸出の機能など、利用者に使いやすい機能を付加し利用者の利便性を上げたが、コロナ禍による臨時休館の影響が続いている。貸出冊数は復調しつつあるが目標値には届かなかった。						
課題	経年劣化等による修繕が頻繁に発生しているため、改修計画に基づく長寿命化工事の対応が必要となっている。施設の緊急度を勘案し優先順位を付けながら、大規模改修工事を検討。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市民が安心・快適に図書館を利用できるよう運営する必要があるため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当G	図書館管理運営総務担当	連絡先	943-8008		
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	農中 英司	リーダー	松本 優子	担当	藤原 敏貴	金子 紘也	

1.事業概要【Plan】

事業名	図書館資料購入事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
42122							
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	多彩な人材を育む		○	-	-	-	
施策	生涯学習の推進						
主な取組	生涯学習環境の整備	根拠法令	図書館法第3条/子どもの読書活動の推進に関する法律第2条、第4条、第7条、第9条/文字・活字文化振興法第5条～7条/視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律第5条、第9条、第10条/松山市立図書館条例第3条/第4次まつやま子ども読書活動推進計画				
取組みの柱	図書館資料の充実と利用環境の整備						
目的・背景	図書館法に基づき、市立図書館が市民の多様な学習ニーズに応えられる、生涯学習の拠点及び情報センターとしての機能を果たすために、ニーズに合った図書館資料の選定・収集を行うほか、図書の本整備・充実に努める。						
対象・内容	利用者からのリクエストや新刊案内、出版目録、各種書評紙等を参考に、図書館の資料収集方針に照らして選書委員会で購入資料を選考し、資料購入を行う。						

2. 事業実施【Do】

		会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
事業費/財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費(千円)【R4決算】	図書館資料購入費		31,998
予算(千円)	事業費計	32,000	32,000	32,000					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	32,000	32,000	32,000					
決算(千円)	事業費計	32,000	31,998			主な取組内容【R4】	図書、逐次刊行物、視聴覚資料などの図書館資料を整備。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	32,000	31,998						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.1	1.1	1.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	蔵書冊数		目標	-	81.9	82.2	82.5	図書、逐次刊行物、視聴覚資料などの図書館資料を整備し、蔵書数が増えたため	
			実績	-	81.9				
	累計で増	万冊(点)	達成率	-	100.0%				
成果指標	蔵書回転率(貸出冊数の合計/蔵書冊数)		目標	2.2	2.2	2.2	2.2	蔵書回転率は購入資料の有効活用度を測る指標。達成度が上がったことは、利用者ニーズに沿った資料整備が行えたと考えられる	
			実績	1.8	2.1				
	累計で増	回	達成率	81.8%	95.5%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新陳代謝を図りながら利用者ニーズに沿った図書館資料の充実に努めることができた。							
課題	蔵書回転率が目標値に徐々に近づいているが、目標到達に向けて利用者ニーズの幅広い把握が求められる。			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も新陳代謝を図りながら利用者ニーズに沿った図書館資料の充実に努める。		

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	教育委員会事務局	課等名	中央図書館事務所	担当G	図書館管理運営・総務担当	連絡先	943-8008	
部長等名	鷲谷 浩三	課等長名	農中 英司	リーダー	松本 優子	担当	金子 紘也	

1.事業概要【Plan】

事業名	視聴覚ライブラリー運営事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
42123			各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】			-	-	-	-	
政策	多彩な人材を育む							
施策	生涯学習の推進		根拠法令	松山市視聴覚ライブラリー規則				
主な取組	生涯学習環境の整備							
取組みの柱	生涯学習における視聴覚教材などの利活用							
目的・背景	昭和44年、視聴覚教育の振興によって教育の近代化を図るため、松山市視聴覚ライブラリーを設置。平成2年、当時の生涯教育課から中央図書館事務所に業務が移管。視聴覚教材・教具の貸出しを行うことにより、メディア活動を通じた生涯学習を支援することを目的としている。							
対象・内容	<p>対象:松山市内に所在する社会教育団体、学校教育団体等が営利を目的としない事業を実施する場合を対象とする。</p> <p>事業内容: 団体向け視聴覚資料(DVD・ビデオ・16mmフィルム)・教具(プロジェクター・ビデオデッキ・16mm映写機など)の貸出しを行い、市民の利用に供することにより生涯学習の推進を図る。</p>							

2.事業実施【Do】

事業費/財源	令和3年度	令和4年度	令和5年度	項	社会教育費	目	視聴覚ライブラリー費
予算(千円)	事業費計	103	85	85	主な経費【R4決算】	県視聴覚教育協会負担金	54
	国費・県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	103	85	85			
決算(千円)	事業費計	82	80		主な取組内容【R4】	団体に対し視聴覚資料・教具の貸出。	
	国費・県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	82	80				
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1	特記事項		
	その他	0.3	0.3	0.3			
	合計	0.4	0.4	0.4			

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析(令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	視聴覚資料の貸出点数	目標	-	-	50	55		
		実績	43	46				
	単年で増	点	達成率	-	-			
成果指標	視聴覚資料の利用者数	目標	-	-	2,200	2,400		
		実績	708	4,285				
	単年で増	人	達成率	-	-			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	視聴覚資料の利用者数が4,285人となっているのは、教具を貸出した大規模イベントの参加者(3,400人)を加算しているためであるが、これを差し引いても令和3年度以上の利用者実績を残すことができた。						
課題	①16mmフィルムの劣化 ②16mm映写機のメンテナンスが困難(部品の調達が出来ない)			今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	①16mmフィルム保管に適切な環境を可能な限り保ちながら、貸出を行う。 ②使用できなくなった16mm映写機の部品を再利用しながら貸出を行う。	